

教員の養成の目標及び計画(大学・大学院)

大学全体

岐阜聖徳学園大学は、昭和47年度に「教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神にのっとり仏教精神を基調として義務教育や諸学校における有為な教育者を養成すること」を目的として、教育学部のみ単科大学として開学した。以来、建学の精神にのっとり、高い教養と知的・道徳的視野を持つ教育者の養成を目指した教育課程を編成し、多数の教員を輩出してきた。

その後、平成2年度に外国語学部を設置し、中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状(英語・中国語)の課程認定を受け、さらに平成10年度には経済情報学部を設置し、高等学校教諭一種免許状(商業、情報)の課程認定を受けた(中国語は平成27年度入学生から取り下げ)。

教育学部においても当初の初等教育・中等教育の2課程から、平成20年度に学校教育課程への改組等を行い、平成27年度に教育学部学校教育課程に特別支援学校教諭の養成を目的とした特別支援教育専修を設置し、特別支援学校教諭一種免許状の課程認定を受けた。また、同年には看護学部看護学科を設置し、養護教諭一種免許状の課程認定を受けた。いずれの学部・課程・学科においても、教育学部単科大学として開学し今日まで培ってきた教員養成の理念に基づいて実施している。

本学の教職課程は、上記理念に基づき、学生に次の知識・能力・態度を修得させる。

- (1) 学習指導・生活指導に必要な基礎的知識・能力
- (2) 子ども理解に必要な知識・経験
- (3) 自ら学び求める姿勢・態度
- (4) 持ち味の発見・専門的力量養成

本学の教職課程は、これらの学修を通しての実践的指導力と教職者としての人格的素養を兼ね備えたスペシャリストを養成している。また、現代的課題に対応できる教員養成を目指すものである。

教育学部 学校教育課程

学校教育法において、保護者にその子女を満6歳から9年間、小学校、中学校等に就学させる義務が課されており、市区町村には小・中学校を設置する義務が課されている。義務教育に関わる教員は小学校と中学校の両方の教員免許状が必要と考える。教育学部学校教育課程の教育研究上の目的は「建学の精神にのっとり教職に対する強い情熱をもち教師力、人間力を備えた義務教育の教員養成」である。また教育学部学校教育課程はその専門分野により専修に分け、小学校教員養成と中学校教員養成を目的とした国語・社会・数学・理科・音楽・体育・英語の各専修と、小学校教員養成と特別支援学校教員養成を目的とする特別支援教育専修、小学校教員養成と心理的アプローチの基礎的知識の習得を目的とする学校心理専修、小学校教員養成に加え幼稚園教諭と保育士養成を目的とし、中学校教員養成は行わない保育専修の10専修を設ける。教職に対する情熱をもち、子どもに正面から対応していく意欲ある学生に対し、次の知識・能力・態度を備えた教員の養成を理念とする。

- (1) 学習指導・生活指導を行う上で必要な体験的学習に基づいた基礎的知識と能力
- (2) 子ども理解を行う上で必要な知識と経験

(3) 自ら学び求める姿勢と態度

外国語学部 外国語学科

外国語学部外国語学科では、建学の精神にのっとり、国際的な視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目指している。このような、コミュニケーション能力と言語・異文化理解の視点を備えた人材は現在の中・高校の外国語教育の現場で強く求められている。

平成27年度から外国語学部外国語学科では「国際キャリアコース」と「中等英語教員養成コース」を設置した。このうち「中等英語教員養成コース」では、英語コミュニケーション能力はもちろん、語学教育の理論的な知識を持った「プロ」の中学校や高等学校など中等英語教員を養成する。教育現場において授業内外を問わず、英語をダイナミックに駆使し、生徒たちのモデル、理想となる教員を目指している。

経済情報学部 経済情報学科

サービス経済化・情報化が進展する現代社会において専門教育(商業)の一層の充実化が求められている。また、教科「情報」は高等学校において必修科目となり、コンピュータ操作とともにその倫理観も重要な教育指導項目となっている。

経済情報学部経済情報学科では上記の社会的要請に基づき、より専門的な知識の修得、実践的な指導力の養成、教育者としての人格形成を目指した教員養成を目指している。このため、卒業後の進路として高等学校教師を強く希望する学生に対して少人数教育を行い、高等学校教育に情熱を持ち人格的にも優れた学生を養成している。

看護学部 看護学科

看護学部看護学科は建学の精神にのっとり、社会の要請に応じて、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材を養成することを使命としている。

その使命を果たすため、看護学部看護学科においては、看護に関する教育を教授することはもちろん、看護の研究を推進し、さらには臨床における看護の質の向上を目指し、医療・保健・福祉・教育・行政等の機関に勤務する専門職と連携を通して社会に貢献する人材を育成することを教育の基本目的としている。

上述の学科の性格・目的から「看護師としての基礎知識・技術・態度を兼ね備えとともに高いコミュニケーション能力を備えた養護教諭養成」を理念とする。

以上の理念・構想から「看護学の専門知識をベースとして、多職種と連携しながら教職員や保護者、児童・生徒と関わることができる教員」を看護学部看護学科の目指す教員像とする。

大学院国際文化研究科 国際教育文化専攻

大学院国際文化研究科国際教育文化専攻の教員養成に対する理念は、国際的視点に立って、教育に関する高度な専門的知識と教育実践面での応用力、高い倫理観と豊かな人間性を育成し、教育実践を通して社会に貢献することである。現今の社会構造の急激な変化は学校現場に多大な影響を及ぼし、学校教育に関わる課題は複雑化・多様化している。そのような状況に対応すべく、

専門的知識・コミュニケーション能力を活用し、豊かな人間理解の姿勢で課題解決に取り組む高度な専門的職業人としての教員を養成する。教育課程は学校の国際化・異文化接触に伴う適応を含む生徒指導上の問題、不登校・いじめ等の教育課題に対処できる理論的思考能力、日本語教育・多文化共生等の国際教育に関する実践力とコミュニケーション能力、教科内容を把握探求し授業を創造する能力、自ら見出した研究課題を解決する能力を修得できるように編成する。

大学院国際文化研究科 国際地域文化専攻

大学院国際文化研究科国際地域文化専攻の教員養成に対する理念は、国際的視野と感覚を持ち、英語圏の文化と言語を幅広く理解し、英語を使って創造的に分析発信する能力を育成し、英語の教育実践を通して社会に貢献することである。現在、小学校の「総合的な学習の時間」の中で国際理解、英会話活動が体験的に行われている。中学校・高等学校でそれに連携するには、ネイティブスピーカーに匹敵する英語運用能力、英語圏をはじめとする異文化に対する深い理解と分析力が必要になる。この現状を見据え、高度な理論と実践力を兼ね備え、現場での英語教育改善で先進的役割を担える専門的職業人としての教員を養成する。教育課程は文学・歴史・社会・思想・言語等多角的に文化を理解し、言語能力を向上し、英語科の授業を構築する能力、自ら見出した研究課題を解決する能力を修得できるように編成する。

大学院経済情報研究科 経済情報専攻

高等学校一種免許状（商業）および（情報）の所要資格所有者を対象に、専門的知識・実践力・指導力・授業力等をさらに充実化し、より高度な専門的知識・実践力・指導力・授業力等を身につけることとする。

高等学校教諭専修免許状（商業）では経営・環境分野および応用経済分野の専門科目履修で培った専門知識に基づき実践力・指導力・授業力等のより深い研究を行なうことを目指す。高等学校教諭専修免許状（情報）では社会情報分野の専門科目履修で培った専門知識に基づき、ハード・ソフト両側面で日々進展している情報技術を習得し、情報の基礎理論の研究を深め、実践力・指導力・授業力等を身につけることを目指す。